

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	果樹	単位数	2	履修学年・クラス	3A
担当者		使用教材	果樹(実教)				
学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、果実の生産と経営に必要な資質・能力を育成する。						
学習方法	○果実の生産と経営について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を学習する。 ○果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する学習を行う。 ○果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む学習を行う						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技術	果樹について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	果樹に関する課題を発見し、果樹や果樹関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	果樹について基礎的な知識と技術が果樹の各分野で活用できるよう自ら学び、果樹の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	第1章 果樹の種類と果樹栽培の動向	1. 果樹の種類と果実の利用 3. 果樹とプロジェクト学習	○			[知] ・果実生産の役割と動向について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・果実生産の特性と栽培技術について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果実生産の役割や動向に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 ・果実生産の特性と栽培技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第2章 果樹の生育と栽培環境	1. 果樹の生育と生理 2. 果樹栽培と環境		○			
	第5章 リンゴ	摘蕾・摘花・摘果 人工授粉、訪花昆虫			○		
前期末	第3章 果樹の栽培管理	1. 苗木の育成 2. 開園と更新 3. 土壌管理 4. 栄養と施肥 5. 水分管理		○		[知] ・果樹の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果樹の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第5章 リンゴ	見直し摘果 夏季せん定 袋かけ			○		

後期中間	第3章 果樹の栽培管理	6. 結実管理 7. 結果調節 8. 結果習性と整枝・せん定 9. 気象災害の防止 10. 病害虫の防除		○		[知] ・果樹の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果樹の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第5章 リンゴ	葉摘、玉回し 収穫			○		
後期末	第3章 果樹の栽培管理	11. 植物生長調整剤の利用 12. 施設栽培と特殊栽培		○		[知] ・果樹の栽培と管理・評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 [思] ・果樹の栽培と管理・評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 [態] ・果樹の栽培と管理・評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	・ノート、記録 ・レポート ・授業観察 ・定期考査
	第5章 リンゴ	1. 栽培上の特性と品種 2. 生育の姿と栽培管理 収穫・選果 せん定 5. 栽培の評価と経営計画			○		